

# 介護 なんでも 相談室 20



松永安優美 まつながあゆみ  
栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

## Q

母親が脳こうそくで入院したのち、認知症が始まってしまいました。嫁いでいる私は、近々の実家に頻繁に通い、一人暮らしの母親の面倒をみる毎日です。私には、55歳になる3つ年上の兄が東京にいますが、母が認知症になってから、ほとんど実家に顔を出さなくなりまして。それでいて、私に電話で、「(実家の)財産はオレのもの。治療費などにあまり力ネをかけるな」と冷酷なことを言います。頭にきている私は、有料ヘルパーなどをどんどん雇って、母の介護に財産を使い切ってしまうかと考えています。この考え方、いけないですか？

## A

親の介護について、子供さんたちがモメる関係ですが、一つ提案としてはよくあります。本人す。介護の大変さをお兄さんの前でケンカをする兄妹さんに知ってもらうためにも聞いています。一度、交代してもらったら、どうでしょう。お兄さんは仕事もあり、



相談者が言うように、お母さんの財産を介護のために使うことは悪くありません。公的サービスや家政婦・看護士紹介所などがありますから、お金をかけて雇うことは簡単です。それで相談者の負担が軽くなり、リフレッシュできるのであれば、お母さんも喜んでくれると思います。ただ、いたずらに費用をかけるすぎると、お兄さんから苦情が出て、さらに兄妹の仲をこじらせてしまいかねません。バランスを考えることが大事です。介護はいつまで続けば終わるか見通せません。その間には、病院の入退院や手術など、お金がかかることが出てきますから、堅実にやっておきたい。

また、お兄さんとの関係ですが、お兄さんには仕事もあり、忙しい人でしょうが、何か口実をもうけて、一週間くらい、お母さんの介護をしてもらう。そうすれば、介護の大変さや相談者の苦労もわかるはずですから、お兄さんには聞いてもらいたいです。お兄さんには仕事もあり、忙しい人でしょうが、何か口実をもうけて、一週間くらい、お母さんの介護をしてもらう。そうすれば、介護の大変さや相談者の苦労もわかるはずですから、お兄さんには聞いてもらいたいです。お兄さんには仕事もあり、忙しい人でしょうが、何か口実をもうけて、一週間くらい、お母さんの介護をもらう。そうすれば、介護の大変さや相談者の苦労もわかるはずですから、お兄さんには聞いてもらいたいです。